
誰得？俺得！俺たちのライダー大戦！ライダーバトルトーナメント（+怪人達）

天の道を行く妄想者

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

誰得？俺得！俺たちのライダー大戦！ライダーバトルトーナメント（+怪人達）

【Nコード】

N4993U

【作者名】

天の道を行く妄想者

【あらすじ】

そこはとある闘技場、そこでは様々なライダーが集結し最強の座を賭けて激しいバトルが繰り広げられる。

この作品には他の作者様の作品のキャラクターが多数登場します。

開会宣言（前書き）

ライダーを貸していただいた作者様ありがとうございます！

天「まあ、詳しい事は『魔法少女リリカルなのは』よみがえりし大地の神々』を呼んでくれ」

貴「宣伝しやがった……」

天「そしてもう一人、今回のマスコットキャラクターのジェネラルシャドウだ！」

シャドウ「シャドウを選ぶとはなかなかいい目を持っているな貴様」

貴「変なの連れてくるんじゃないよお前！」

天「今回はかなり役に立つたんだぞ……トランプ！」

貴「お前、さては対戦表から試合結果までトランプで決めやがったな！　フーかトランプなら他にも居ただろうがブレイドとかギヤレンとか！」

天「あそこに居るさ！」

ランス&ラルク「……」　無言で試合会場の準備中。

貴「明らかに使い方間違ってるだろ……」

天「そんな事よりルール説明だ！」

貴「それは俺がやる……ルールは無制限一本勝負、降参するか戦闘不能（変身解除や気絶）になったら試合終了だ、なおクロックアップ系統やライダー召喚、インビジブルにクリアーベントは禁止だ」

「「「えっ!!」「」」

貴「よし今反応した奴、もしルールを破ったらカマードが問答無用で制裁を加えるからな」

カマード「……（ゴゴゴゴッ）」 剣を地面に突き刺し両手を剣に乗せながら仁王立ち。

なおイメージはFate/stay nightのセイバーを思い浮かべてくれればいいぞ。

貴「更に公平にするためにライダー達のスペックはある程度調整している」

天「スペックなんてただの飾りです！偉い人にはそれが判らんのですよ!!」

貴「なお戦闘模写に関しての指摘は受け付けるが勝敗結果に関してのクレームは受け付けない、以上！」

天「続いては対戦表の公開だ！」

対戦表

一回戦Aブロック

仮面ライダーディエンド（海東大樹） × 仮面ライダーカブト（天）

仮面ライダーエターナル（本田克己） × 仮面ライダーG4 & 仮面ライダーアナザーアギト（木之城シロウ）

仮面ライダーディガイド&仮面ライダーレイブ&ナイトジョーカー
(黒滅刃) × 仮面ライダースカル(鏡祢アラタ)

仮面ライダーディザンド(ヴァティ・レン) × 仮面ライダーキバ
Ver. Fate (衛宮士郎)

1回戦Bブロック

サイクロンドーパント(本田風香) × 仮面ライダーグレイブ&ト
リアル・ジョーカー(西黄ジュンイチ)

仮面ライダートリガー(本田直也) × 仮面ライダーエターナル(上
野進也)

仮面ライダープロト(小日向貴大) × 仮面ライダーダークネス(織
斑朔夜)

仮面ライダーガイ(上条当麻)

貴「こ、これは……」

天「とりあえず上条当麻はこんな所で数少ない運を使ったと嘆くべ
きか……」

貴「そもそもバトルイベントではぶられると言う不幸を悲しむべき
か……」

当麻「ちょっとあんた等！その言い草は酷いですよ！」

貴「……さて次回からはいよいよバトル本番だ！」

天「……あとトーナメント終了後にドリームマッチを予定してるのでこのライダーと戦いたい！と言うのがあったら言っていただければそのライダーの作者様の許可が取れればやります！」

天・貴「それでは」

当麻「ちよつと！放置でせうかー！！」

闇色の月様、当麻を才手に使ってすいません。

第1回戦Aブロック1（前書き）

試合内容の指摘は受け付けますが試合結果のクレームは受け付けません！

今回戦ったライダー達（カブトを除く）の詳細はそれぞれの作品の本編参照と言う事でよろしくお願いします。

海東大樹は仮面ライダーディエンドに天は仮面ライダーカブト マスクドフォーム に変身する。

「フツ！」

「ハッ！」

ディエンドはディエンドライダーでカブトはカブトクナイガン ガンモード でお互いを打ち合い銃弾は相殺される。

《両者一步も譲らない！！ おっとこのままではキリがないと悟ったのか両者近接戦闘に移行するようだ！！》

ディエンドとカブトは一斉に走り出し間合いを一気に詰める。

「はぁ！」

「がっ！」

ディエンドはディエンドライダーでカブトを殴りカブトは大きく仰け反る。

「これでどうかな？」

「ぐおっ……………」

更にディエンドは追い討ちにディエンドライダーを連射しカブトはそれを受けながら後退する。

「この程度なのかい？」

「うっせー勝負はこれからだ！ キャストオフ！」

カブトはカブトゼクターのゼクターホーンを倒す。

『Cast Off Change Beetle』

カブトのマスクドアーマーがはじけ飛びカブトは ライダーフォームへと変わる。

「くっ……はあ！」

デイエンドは一瞬だけ怯むが直ぐに体勢を立て直しデイエンドライバーを連射する。

「はあああああ……！」

カブトはデイエンドの銃弾をカブトクナイガン クナイモードで弾きながら接近しデイエンドをカブトクナイガンで連続で斬りつけお返しと言わんばかりの強烈な蹴りをデイエンドに喰らわす。

「く、なかなかやるね……それならこれだ」

デイエンドは1枚のライダーカードをデイエンドライバーに挿入し引き金を引く。

『ATTACK RIDE BLAST』

デイエンドはデイエンドライバーの銃身が分身しながらホーミング弾を発射する デイエンドブラスト を放つ。

「はっ、ふっ、ぐあ！」

カブトはカブトクナイガンで銃弾を弾いていくが様々な方向から飛んでくるそれを捌ききれずに直撃する。

「これで終わりにしよう」

デイエンドは更にライダーカードをデイエンドライバーに挿入する。

『FINAL ATTACK RIDE DI・DI・DI・DI・
END』

デイエンドがカブトにデイエンドライバーを向けるとクウガからキバまでの平成主役ライダーとデイエンド自身が描かれた半透明のカードが照準となって標的を捕捉し、カードのエネルギーを込めた巨大なビームを発射する。デイメンションシュート が放たれる。

「なっ！ぐわーーーーー！！！」

デイメンションシュートはカブトに直撃しカブトは火花を散らしながら吹っ飛び変身が解除されて転がる。

《K・O！ WINNER デイエンド！！》

「勝利と言ってお宝……確かに頂いたよ」

《すばらしい試合をありがとうデイエンド！！ さて次は第二試合です……！》

第2試合

《さて第2試合は仮面ライダーエターナル（本田克己）VS仮面ライダーG4&仮面ライダーアナザーアギト（木之城シロウ）を送りたいと思います、なお実況は天がくたばっている為引き続き小日向貴大が天のノリでお送りします！！》

会場が再び真つ暗になり

《青コーナー！！野球部所属の熱血？中学生！！カイ（海）・R・銃王様の作品である『とある永遠の仮面騎士』より仮面ライダーエターナル……またの名を本田あー……克己い……！！》

スポットライトを浴びながら本田克己が入場してくる。

「行くぜ！ 変身！」

『エターナル！』

本田克己は仮面ライダーエターナルへ変身する。

「わあああああああああ……！！」
「」

エターナルの変身と同時に会場が沸く

エターナルは蹴りを繰り返してそれをG4は両腕をクロスさせガードし、すぐさま弾いて強烈なカウンターパンチを入れる。

「ぐっ……」

「はぁ！」

G4は追い討ちをかけるようにGK-06改で追撃するがエターナルのエターナルエッジで受け止めそのまま鏢迫り合いになる。

《おっと両者一步も譲らない!!》

このまま鏢迫り合いが続くかと思われたがエターナルがG4の腹部に蹴りを入れG4が怯んだ所をエターナルエッジで斬りつける。

「がっ……」

G4は仰け反り後退しエターナルはG4に追い討ちをかけようとするがG4は咄嗟の判断でGM-01改四式を使いエターナルを牽制し距離を離すことに成功、その際にG4は腰にアंकポイントを出現させる。

「変身！」

G4はアナザーアギトへと姿を変える。

《おっと！ 木乃城選手ここでG4からアナザーアギトに切り替えた!!》

「はっ！」

「ぬぐっ……」

アナザーアギトはエターナルに強烈な連続パンチを喰らわしエターナルは仰け反る。

「がっ……これで！」

エターナルはゾーンメモリを取り出しマキシマムスロットに入れる。

『ゾーン マキシマムドライブ』

アナザーアギトはエターナルに追い討ちをかけようとするが攻撃しようとした瞬間エターナルが消えアナザーアギトの攻撃は空振りに終わるが次の瞬間。

「はっ！」

「ぐわっ……」

突如アナザーアギトの背後にエターナルが出現しそのままエターナルエッジでアナザーアギトを斬りつけアナザーアギトは転がる。

「これで決める！」

アナザーアギトは体勢を立て直しクラッシャーを展開しエターナルはジョーカーメモリを取り出しマキシマムスロットに入れる。

『ジョーカー マキシマムドライブ』

2人はそれぞれ構えて飛びアナザーアギトは アサルトキックを
エターナルは ライダーキック を同時に放つ。

「はあああああ!!」

アサルトキックとライダーキックは激突し爆発を起こす。そして爆
発が晴れていたのは……。

エターナルだった。

《K・O W I N N E R エターナル!!》

「よしっ!!」

ガッツポーズをするエターナル。

《2人とも素晴らしい試合をありがとう!さて第3試合は次回と言
う事で……それでは》

第1回戦Aブロック1（後書き）

どーも天です！

天「書き出してから気付いたことがあるんだが……」

貴「なんだ？」

天「斬空様のところの刃なんだが……ディガイドからレイブにチェンジするとき1回変身とくじゃん？」

貴「まあそうだろうな」

天「その時点で負けになるんだよね……」

貴「あつ……」

天「ライダーから怪人は良くある事だから問題ないし木乃城君はさ、G4は正式には強化スーツだから何とかなっただけど……どうしようか？」

貴「斬空さん……どうしましょうか？」

カイ（海）・R・銃王様、闇色の月様、ベルト様、桐生 乱桐様、門矢光様感想ありがとうございます！

ご意見やご感想、または誤字や脱字、表現がおかしいなどあれば言っていたけると幸いです。それでは

一回戦Aブロック2（前書き）

前回同様バトルの内容に関する指摘は受け付けますが勝敗に関するクレームは受け付けません。

たの名を鏡称いいいい……………！！アラタアアアアア
アア……………！！》

スポットライトを浴びながら鏡称アラタが入場してくる。

「さあ、お前の罪を数えろ！」

「アラタ！！しっかりやりなさいよ！！」

「ああ！」

御坂美琴の言葉にガッツポーズで返す鏡称アラタ。

「……………わああああ……………！！」「……………」

「……………ブ……………！！」「……………」

《彼女連れ（仮）に賛否両論ですがしつこ過ぎるとカマードに斬られちゃうぞ……………って言うか隣で無言でガンガンするの止めてええ……………！！》

《……………（ガンガン）》

マスターゼクター（剣）を何度も地面に刺すカマード。

《……………え、隣でガンガンやってるカマードがめっちゃ怖いですが……………気を取り直して！！レディイイイイ……………！！》

黒滅刃はナイトラウザーを出現させワイルドスートのエースを取り出し鏡称アラタはロストドライバーを腰に装着スカルメモリを取り出し起動させる。

『SKULL』

《ファイト!!》

「変身!」

黒滅刃はナイトラウザーにラウズカードをラウズし鏡称アラタはスカルメモリをロストドライバーに挿入する。

『CHANGE』

『SKULL』

黒滅刃は仮面ライダーレイブに鏡称アラタは仮面ライダースカルに変身する。

「はあ!」

先に動いたのはスカル、スカルはスカルマグナムでレイブを撃つ。それをレイブはレイブラウザーを使い弾きながら接近しレイブラウザーで斬りつけるがスカルはそれをスカルエッジで防ぎ弾いた後ゼ口距離でスカルマグナムを連射、怯んだ隙にスカルエッジでレイブを斬りつける。

「ぐっ……まだまだ!」

レイブはレイブラウザーにワイルドスートの9をラウズする。

『MACH』

レイブは高速でスカルに近づきレイブラウザーで連続で斬り付ける。

「ぐわっ……」

スカルは転がるが直ぐに体勢を立て直しレイブが止まった瞬間にスカルマグナムで強襲、レイブはレイブラウザーを弾き飛ばされてしまう。

「……」

無言で近づくスカル、それに対しレイブは。

「はあああ!!」

己が拳でスカルを強襲仰け反らせ後退させ最後には強力な回し蹴りでスカルは転がる。

「今だ！ 変身！」

レイブはナイトラウザーの上からディガイドライバーを装着し素早くライダーカードを挿入する。

『KAMEN RIDE DEGAIDE』

レイブはディガイドへと姿を変え即座にディガイドライバーとサモ

ンドライバーに一枚ずつライダーカードを挿入する。

『『 ATTACK RIDE BLAST』』

デイガイドはライドブッカープロトとサモンドライバーの銃身が分身し銃弾を発射する。デイガイドブラストをスカルに向けて放ちスカルはスカルマグナムで応戦するも銃弾の圧倒的な数から複数発直撃する。

「ぐわっ……」

スカルは仰け反りデイガイドはチャンスとばかりに再びデイガイドライバーとサモンドライバーにライダーカードを挿入する。

『『 ATTACK RIDE SLASH』』

デイガイドはデイガイドライバー及びサモンドライバーの刀身を分身させ相手を斬り裂く。デイガイドスラッシュを発動させスカルの装甲を二刀で切り裂きスカルはとうとう膝をついてしまう。

「これで終わりだ！」

デイガイドはデイガイドライバーにライダーカードを挿入する。

『『 FINAL ATTACK RIDE D・D・D・DEGAID E』』

「はあああああああ！！」

デイガイドとスカルの間に数枚のホログラムカードが出現、デイガ

イドが飛び上がるとそれに合わせてホログラムカードは浮かびそれをくぐりながら飛び蹴りを放つ　デイメンションキック　を放ちスカルに直撃させると爆発が起こる。

《おっと！！デイガイドのデイメンションキックが炸裂だああ！！スカルは負けてしまうのか！！》

爆発の後会場は爆煙に包まれそれが晴れた時、観客とデイガイドが目にしたのはスカルマグナム　マキシマムモード　を構えるスカルであった。

《おおっと！何とスカルはデイガイドの攻撃を耐え切りました！》

『SKULL MAXIMUM DRIVE』

「スカルパニッシャー！！」

スカルマグナムから放たれた四つの金色の銃弾は吸い込まれるようにデイガイドに直撃しデイガイドは吹っ飛び変身が解除される。

《K・O！！　WINNER　スカル！！》

「やったぜ！」

《両者すばらしい試合をありがとう！！次は第4試合です！》

第4試合

《第4試合は仮面ライダーディザンド（ヴァティ・レン）VS仮面ライダーキバVer・Fate（衛宮士郎）を送りいただきます！！
因みに実況は私、天が引き続きお送りいたします！！》

会場（以下略）

《青コーナー！！黒滅刃等と世界を渡る！！剣術、体術、達人級！
！それでも心は乙女なの！！またまた斬空様の作品である『破滅の
断罪者』より仮面ライダーディザンド……またの名をヴァティイ
イイイーーーーーレンーーーーー！！》

スポットを浴びながらヴァティ・レン（以降レヴァ）が入場してく
る。

「行くぞ」

「わあああああーーーーー！！！！」
「」

《続きまして赤コーナー！！魔術も戦いも半人前だが理想と覚悟は
一人前！！世界を救う期待のルーキー！！俺の作品である『仮
面ライダープロト』闇を遣う守護者』より仮面ライダーキバVe
r・Fate……またの名を……衛宮あああーーーーー！！
！士郎ううううーーーーー！！！！》

スポットライトを浴びながら衛宮士郎が入場してくる。

「よし、行くぞー！」

「「「「わあああああ—————！！！！」」」」

《さあ両者そろった所で行きましょう！！レディー—————
—————》

「キバって行くぜ！ガブツ」

レヴアはディザンドライバーにライダーカードを挿入しディザンド
ライバーの刀身をスライドさせ衛宮士郎は手の甲をキバットに噛ま
せると頬にステンドグラスのような模様と腰に赤いベルトが出現す
る。

《ファイト！！》

「「変身！！！！」」

レヴアはディザンドライバーにある引き金を引き衛宮士郎はキバッ
トを腰にある赤いベルトに装着する。

『KAMEN RIDE DEZANDE』

レヴアは仮面ライダーディザンドに衛宮士郎は仮面ライダーキバ
er・Fate（以降Fキバ）にそれぞれ変身する。

「はあ！！」

先に動いたのはディザンド、ディザンドはFキバに向かってディザ
ンドライバーを振るうがFキバは辛うじてそれを黒と白の夫婦剣：

… 干将と莫耶 を投影して受ける。

「はっ！せい！」

「くっ！はあ！」

ディザンドの猛攻を辛うじて防ぐFキバそれが1回、2回、3回…
…10回、20回と続くが打ち合う内にFキバに大きな隙ができデ
イザンドはそこに打ち込もうとするが直感なのか本能なのか打ち込
むのをやめ後ろに下がりFキバと距離を取る。

「くっ……はっ！」

Fキバは一瞬悔しそうな雰囲気を出すですがすぐさま干将と莫耶を洋弓
に変え矢を放つ。

「このくらい！せやあー！」

ディザンドは怯むことなくディザンドライバーで矢を叩き落としな
がら前進する。だがFキバも負けてはいないFキバは三本同時に矢
を放ちディザンドは2本を弾くものの一本が直撃し後退する。

「がっ……」

Fキバは後退したディザンドを見てチャンスとばかりに呪文こじまを紡ぐ。

「I am the bone of my sword . (体は
剣で出来ている)」

そしてFキバの手に現れるのは赤い魔剣……

フルンディング
赤原狩獵

それを矢

としてデイガイドに向かって放つ。

「フルンディング
赤原狩猟!!」

放たれた魔剣はデイガイドへ向かい一直線に突き進む。

「こんなもの！ はあ！」

デイザンドはデイザンドライバーで魔剣を弾きそのままFキバへ向かい走る……がその選択が命取りになる。赤い魔剣は何と軌道を変えデイザンドに再び向かって突き進む。

「なっ！」

デイザンドは気付き振り返るが時既に遅し、まともに防御できないまま直撃を食らう。

「今だ！」

Fキバはキバットにフェッスルを吹かせる。

「ウエーイクアープ!!」

キバットの声と共に会場に三日月が浮かぶ夜が訪れる。

「はっ！」

Fキバが右足を高く上げるとキバットがその周りを回り鎖カテナが解放、ヘルズゲートが解放される。

「はあ！！」

Fキバは高く飛び上がり。

「はあああああああああああ！！」

飛び蹴りを放つ　ダークネスムーンブレイク　が発動する。

「くっ」

ディザンドは起き上がりライダーカードをディザンドライダーに挿入する。

『FINAL ATTACK　RIDE　DE・DE・DE・DEZ
ANDE』

ディザンドはディザンドライバーの刀身に3Dカードが巻き付き光の刀身を形成し斬撃を飛ばす　ディメンションブーム　を放つが斬撃はFキバのダークネスムーンブレイクに押し切られ消滅しダークネスムーンブレイクはそのままディザンドに叩き込まれる。

《おっとディザンドは気絶しているぞ！！》

《K・O！！　WINNER　キバver・Fate！！》

「よし！」

《白熱したバトルでした！！2人ともありがと……》

『Hyper Clock Up』

カマードが消える。

《はっ?》

『Hyper Clock Over』

そしてFキバの側に降り立ち。

「……フンッ」

「ぐはっ!」

カマードはFキバを思いつきり蹴る。

《おっと衛宮選手、反則行為か?》

だがカマードはFキバを無視し変身が解けたレヴァアを抱え医務室に向かう。

《おっとこれは推測ですが『女性にいつまでも足置いてんじゃねーよボケが!』』と言う意味で一蹴したようです!》

「な、なんて理不尽な……ガクッ」

《ハプニングがありました^{あれ}が……特に問題ないでしょう!!それで
はまた次回!!……あ、Fキバ回収^{あれ}しといて》

一回戦Aブロック2（後書き）

どーも天です！

天「まず最初に斬空様！すいませんでした！」

貴「謝るぐらいならどっちか勝たせりやいいのに……」

天「公平に決めたバトルで八百長なんてできるか！！」

貴「公平ってトランプを一枚ずつ引いて数字の高いほうが勝ち、それを3回やって勝ち数の多いほうが次に進めるって奴だろ？」

天「それでやったら絶望したり笑い転げたりしたぜ！」

貴「まあ勝敗云々はともかくフルンディング赤原狩猟はあれでいいのか？」

天「あれは問題ないフェイトのアンリミテッドコード（格ゲー）ではあんなだからな」

貴「ガードしてしばらくしたら後ろからグサリ……だからな」

闇色の月様、カイ（海）・R・銃王様、ベルト様、斬空様、感想ありがとうございます！

ご意見やご感想、または誤字や脱字、表現がおかしいなどあれば言っていただけと幸いです。それでは

第一回戦Bブロック(前書き)

前回同様、試合内容の指摘は受け付けませんが試合結果のクレームは受け付けません！

今回戦ったライダー達(カプトを除く)の詳細はそれぞれの作品の本編参照と言う事でよろしく願います。

第一回戦Bブロック

《さあ今回からはBブロックに入りまして、まずは第1試合はサイクロンドーパント（本田風香）VS仮面ライダーグレイブ&トライアル・ジョーカー（西黄ジュンイチ）をお送りいたします！因みに実況は今回も天がお送りいたしますす！！》

《青コーナー！！ある日突然舞い降りた、嵐を起こすサイクロンガール！！カイ（海）・R・銃王様の作品である『とある永遠の仮面騎士』よりサイクロンドーパント……またの名を本田あああああ……風香あああああ……》

スポットライトを浴びながら本田風香が入場してくる。

「私の風についてくれる？」

「……わあああああああ……」

「……！！」「……」

「……頑張れ！！」「……」

《なおカイ（海）・R・銃王様の折原和、西京圭、波畑柊、黒石謎折原空の5人が応援に来ていただいています！！さあ続いて赤コーナー……実は正体トライアル、そんな真実何のその、人々守るフリーター……そんな彼は今何処？^{いずこ}ブラツキン様の作品である『仮面ライダーディエンド仮面ライダーディエンド』世界を盗む大怪盗『よりトリアル・ジョーカー……またの名を西黄……』……ジュンイチ……！！

！」

「よっしやー！！行くぜ！！」

「くくくくわあああああああー—————
！」「」「」

《おおつと西黄選手は対戦相手の事を考えてトリアル・ジョーカーで行くみたいですよ！！》

《……（パチパチ）》

天が絶賛しカマードが拍手を送るが。

《言つとくがジョーカーは並みのライダーより強いからな》

《……あっ》

《……（ガーン）》

貴大の言葉に2人が固まる。

《……気を取り直して行きましょう！！ガンダ……じゃなかったライダーファイト、レディー—————ゴ—————！！》

《……掛け声変わつとるがな、っーか素で間違えんなよ》

貴大の突っ込みなど聞こえていないかのように本田風香はサイクロンドーパントに西黄ジュンイチはトリアル・ジョーカー（以降Tジョーカー）へ変化する。

「はあ！」

先に動いたのはサイクロンドーパント軽快な動きでTジョーカーに接近し疾風を纏った回し蹴りを放つ。

「甘いな！」

Tジョーカーは上半身を後ろにずらす事によって回避し強烈なパンチをサイクロンドーパントに叩き込む。

「きゃっ……」

サイクロンドーパントは転がるが直ぐに体制を立て直し手から竜巻を出しTジョーカーを吹き飛ばす。

「ぬあ！」

Tジョーカーは壁に叩きつけられ転がる。

「まだまだ！」

Tジョーカーは即座に立ち上がりサイクロンドーパントに向かう、サイクロンドーパントは竜巻で攻撃するがTジョーカーはそれを全て回避し腕についているかぎ爪で一閃しサイクロンドーパントをなぎ払って距離が開いたところにTジョーカーは空に手をかざすとその手から金色の雷撃がサイクロンドーパントを襲つ。

「きゃあああああ……」

雷撃がサイクロンドーパントに直撃し転がりそのまま気を失う。

「きゅっ」

《K・O!! WINNER トライアルジョーカー!!》

「じゃあ!!… どんどん行くぜ!!」

《やっぱりと言つべきか何と言つべきか…… まあ細かい事はともかく2人とも熱い試合をありがとう!!… さて続いては第2試合です!!》

《続きまして第2試合は仮面ライダートリガー（本田直也）VS仮面ライダーエターナル（上野進也）をお送りいたします!!… 因みに実況はまたまた天がお送りいたします!!》

《青コーナー!! やることいつつもはやめちゃですが!!… やる時はやるスナイパー!!… 因みに彼も野球部です!!… カイ（海）・R・銃王様の作品である『とある永遠の仮面騎士』より仮面ライダートリガー…… またの名を本田あああああ…… 直也あああああ……!!》

スポットライトを浴びながら本田直也が入場してくる。

「ゲーム、スタート!!」

『トリガー』

『エターナル!!!』

2人同時にガイアメモリを起動する。

《ファイト!!!》

「「変身!!!」」

本田直也はトリガーメモリを上野進也はエターナルメモリをロストドライバーに挿して開く。

『トリガー』

『エターナル!!!』

本田直也は仮面ライダートリガーに上野進也は仮面ライダーエターナルに変身する。

「はあ!!!」

トリガーはトリガーマグナムを撃ちエターナルを牽制、エターナルは銃弾をかわしながら接近しエターナルエッジで一閃するがトリガーはバックステップで回避し至近距離でトリガーマグナムを発砲する。

「ぐはっ……」

エターナルは直撃を喰らい仰け反る。

「せあつ！」

トリガーは追撃と言わんばかりの強烈な蹴りをエターナルに叩き込みエターナルは吹っ飛ぶ。

「ぐっ……ならこれだ！」

エターナルは一本のメモリを取り出し起動する。

『ジーン！！』

そしてメモリを右腰のマキシマムスロットに入れる。

『ジーン！！ マキシマムドライブ！！』

ガイアウィスパーが鳴り響きエターナルエッジはエターナルマグナムへと変化する。

「はあ！」

エターナルはエターナルマグナムを発砲、トリガーはそれに合わせるようにトリガーマグナムの引き金を引き銃弾を相殺させる。

「まだまだ！！」

エターナルはエターナルマグナムの攻撃を相殺されながらも近づきメモリを取り出し起動させる。

『スイーツ！！』

そしてメモリを右腰のマキシマムスロットに入れる。

『スイーツ!! マキシマムドライブ!!』

「スイーツ・パラダイス!!」

エターナルは、身体全体が生クリームに変化して、トリガーの身体に巻き付き締め付ける。

「ぐ……がつ……」

トリガーがある程度ダメージを負うとエターナルはトリガーから離れロストドライバーに挿さっているエターナルメモリを腰の右にあるマキシマムスロットに挿す。

『エターナル!! マキシマムドライブ!!』

「エターナル・キック!!」

エターナルは満身創痍のトリガーに対しマキシマムドライブで強化した飛び蹴りを喰らわす。

「うわああああああ……」

トリガーは吹っ飛び転がりながら変身が解除される。

《K・O!! WINNER エターナル!!》

「よし!!」

《熱い試合をありがとう！！ さて一回戦は残す所あと1試合です
！！》

《さあ第1回戦も残すところあと1試合！！このまま突っ走ってい
こうと思っております第3試合は仮面ライダープロト（小日向貴大）
VS仮面ライダーダークネス（織斑朔夜）をお送りします！！因み
に実況は（以下略）》

《青コーナー！！チート能力携えて学生満喫ハーレム野郎！！闇の
力をその身に宿しあらゆる世界を駆け抜ける！！門矢光様の作品で
ある『IS インフィニット・ストラトス』全てを虚無にかえす
もの』より仮面ライダーダークネス……またの名を織斑あああ
ああああ……………朔夜ああああ……………
……………！！》

スポットライトを浴びながら織斑朔夜が入場してくる。

「闇に還してやるよ！」

「……………わああああああ……………
……………！！……………」

《赤コーナー!! 最古にして最強と豪語して、カードを集めて世界を救う!! 俺の作品である『仮面ライダープロト』闇を遣う守護者より》『仮面ライダープロト……またの名を小日向ああああああ……貴大おおお……!!』
スポットライトを浴びながら小日向貴大が入場してくる。

「最古にしてさい……」あの時のイケメンだわ……!!
……人の台詞に被せてくんない……!!」

小日向貴大の台詞に被せたのはベルト様のところの応援団の一人……
… 金城 泉 というオカマだった。

《おつとこれは闇の力を使う者同士の対決だ!! それでは行きましょう!! レディー……!!》

織斑朔夜はダークネスドライバーを小日向貴大はプロトドライバーを出現させる。

《ファイト!!》

「変身!!」

『ライダーインストール・ダークネス!』

『Mode Proto』

織斑朔夜は仮面ライダーダークネスに小日向貴大は仮面ライダープロトにそれぞれ変身した。

「こつちから行くぜ！」

ダークネスは刹那と呼ばれる刀を出しプロトに斬りかかる。

「甘いな！」

プロトはそれを軽く回避し蹴りを叩き込んだ後プロトカードを取り出しプロトドライバーに挿入する。

『WEAPON RIDE MEDAZYARIBAR』

プロトの右手にメダジャリバーが出現する。

「次はこつちの番だな！」

プロトはメダジャリバーでダークネスを斬りつけるがダークネスは刹那で受け止め

「そつちもな！」

プロトを蹴る。

「はぁ！ せい！」

「うおおお！ つら！」

メダジャリバーと刹那がぶつかり合う一回、二回、三回……十回、二十回と続きやがてお互いに距離を放す。

「……これでどうだ！」

プロトはメダジャリバーをダークネスに向かって投げ付ける、ダークネスは刹那で弾くがその隙にプロトは接近ダークネスの右腕を蹴り上げダークネスは刹那を手放し刹那ははるか後方に刺さる。

「このー！」

ダークネスはプロトの顔面を殴る。

「がつ………テメエ！」

プロトはお返しと言わんばかりにダークネスの腹部を殴り2人は殴り合いになる。

《おっと！ お互い殴りあってるぞ！！》

2人はしばらく殴りあった後。

「これで決めんぞ」

プロトはブレイカーカードをプロトドライバーに挿入する。

『Proto Breaker』

「幕引きだ………ダークネスインパクト！」

ダークネスは闇の力をプロトは様々なエネルギーをお互い拳に溜めお互いを見据える。

「はあああああああ！！！！」

プロトとダークネスはお互いの拳をぶつけ合いその衝撃で爆発が起ころる。

《これは凄まじい爆発だ！！ どちらが勝つのか！！》

爆煙が晴れ立っていたのはプロト。

「くそ……」

倒れているダークネスは悔しそうにしているが。

「……」

ボタンと音を立てながらプロトが倒れる。

「きゅ〜」

《おっとプロトは既に気絶していた！と言う事は……WINNER
ダークネス！！》

「なかなか楽しめたぜ！」

《つと這いつくばりながら言っても締まりませんが……次回は二回
戦Aブロックですそれでは〜》

第一回戦Bブロック（後書き）

天「突然だがこれでいいのだろうかと思う」

貴「どうしたいいきなり？」

天「だってさ試合がワンパターンな気がするんだよね……」

貴「問題なら読者様が指摘してくれるだろ」

天「まあそうだね」

闇色の月様、斬空様、ベルト様、桐生乱桐様、カイ・R・銃王様感想ありがとうございます。

ご意見やご感想、または誤字や脱字、表現がおかしいなどあれば言っていただけと幸いです。それでは

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4993u/>

誰得？俺得！俺たちのライダー大戦！ライダーバトルトーナメント（+ 怪人達

2011年10月8日14時50分発行